

一〇 欧洲戦争ノ際中国及各国間ニ締結ノ条約及契約類公表ノ件 八四六 八四七

九四八

事項一〇 欧洲戦争ノ際中国及各国間ニ締結ノ条約及契約類公表ノ件

八四六 三月六日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国政府ハ欧洲戦争ノ際日中間ニ締結ノ条約

協約類全部発表スベキ旨外交部施秘書船津ニ

申越シタル件

第三二〇号 (三月七日接受)

三月六日外交部施秘書來館、歐州戦争中ニ於テ日支間ニ締
結セラレタル各種契約協約等全部来ル八日発表ノコトトナ
リタルニ付テハ当地ニ於テモ同時ニ之ヲ発表スル筈ニ付一
応通報シ置ク旨船津へ申越シタル由ニ付船津ハ契約協約全
部トハ何々ナルヤト反問シタルニ右ハ一々列挙スル能ハサ
ルモ自分ノ承知スル處ニテハ客年九月二十四日ノ交換文
書、吉黒兩省林鉱借款契約、軍事協定、參戰借款、軍器購
入契約等ナリト察セラル確言ハ出来ザルモ既ニ巴里ニ於テ
日支両国委員間ニ協議済ノモノナルヘント考フルモ尚詳細
ハ総長代理ニ確メタル上追テ通知スヘント答ヘタル趣ナリ
右不取敢

合ノ上実行然ルベシト思考スルニ付本国政府ヨリ何分ノ訓
令アル迄発表ヲ見合セラレタキ旨申入レシメ置ケリ

八四八 三月十二日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国政府ニ於テ発表スベキ日中間ノ契約類通

報越ニ付回答振請訓ノ件

第三五一号至急 (三月十三日接受)

支那側ト交渉ノ結果通常午前中ニ配達スル政府公報ヲ十四
日ハ特ニ午後四時ヨリ配達セシムルコトトセリ猶ホ支那側
ニテハ左記契約合計十二件ヲ政府公報ニテ毎日一件宛左記
順序ニ依リ陸續発表シ度旨申越タリ右ニ対スル回答振至急

御訓電ヲ請フ

一、参戰借款契約

二、第一回泰平公司軍器購入契約

三、第二回泰平公司軍器購入契約

四、吉黒兩省金鉱森林借款契約

五、濟順高徐鉄路借款予備契約

六、滿蒙鉄路借款予備契約

八四七 三月八日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国政府ハ日本以外ノ諸国ト締結ノ契約協約

ヲモ発表ノ旨施秘書船津ニ申越シタルニ付右

契約類列記通報方要請シ置キタル件

第三二六号 (三月七日接受)

三月七日外交部施秘書ヨリ今回支那政府ニ於テ発表セント
スル契約乃至協約ハ單ニ日支間ノミラナズ歐州戦中各国間
ニ締結セラレタルモノ一切ヲ発表スル筈ナレバ英國[Marco

h] 会社トノ無線電話ニ闊スル借款契約ノ如キモ其中ニ包
含セラルモノト思料スル旨船津へ通報アリタルニ付船津
ハ然ラバ中日ノ電信借款及三井ノ無線電信借款契約ノ如キ
モ同様発表セラルル次第ナリヤト尋ネタル処施ハ多分然ラ
ント答ヘタル由依テ船津ヲシテ今回将ニ発表セントスル契
約乃至協約ハ至急列記通報アリタク又右発表ハ両国政府打

往電第三二〇号ニ閲シ

第三二六号 (三月七日接受)

三月七日外交部施秘書ヨリ今回支那政府ニ於テ発表セント

スル契約乃至協約ハ單ニ日支間ノミラナズ歐州戦中各国間
ニ締結セラレタルモノ一切ヲ発表スル筈ナレバ英國[Marco

h] 会社トノ無線電話ニ闊スル借款契約ノ如キモ其中ニ包

含セラルモノト思料スル旨船津へ通報アリタルニ付船津

ハ然ラバ中日ノ電信借款及三井ノ無線電信借款契約ノ如キ

モ同様発表セラルル次第ナリヤト尋ネタル処施ハ多分然ラ

ント答ヘタル由依テ船津ヲシテ今回将ニ発表セントスル契

約乃至協約ハ至急列記通報アリタク又右発表ハ両国政府打

右ニ閲スル交換文書(七年九月二十四日附)
七、有線電信借款契約(七年四月三十日締結)
八、無線電信契約(七年二月二十一日締結)
九、興亜公司商業借款契約(五年九月九日締結)
十、日貨一千万円第一次前借契約
十一、第二回泰平公司軍器購入契約(マニ)
十二、同上第三回契約
十三、同上第三回契約
八四九 三月十二日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国政府発表申越ノ日中間契約類ハ条件付ニ

テ全部承認方稟申ノ件

第三五三号(至急) (三月十三日接受)

與見ニ依レバ近々支那政府ヨリ軍事協定関係書類ノミナラ
ズ其ノ他諸種ノ契約等ヲモ発表セラルベキ旨ハニ支那新
聞ニ報道セラレ居リ此ノ際我方ニ於テ支那側申出ノ全部ハ
元ヨリ其ノ内何レカニテモ発表ヲ拒ムガ如キコトアル時ハ
支那政府筋ヨリ右拒否ノ事實ヲ漏洩シサモ世間ニ示シ難キ
弱味有ルガ為ニ発表ヲ拒ミタルカノ如キ世評又ハ感触ヲ誘

一〇 欧洲戰爭ノ際中国及各国間ニ締結ノ条約及契約類公表ノ件 八五〇 八五一

九五〇

起スペキカト存ゼラル而シテ往電第三五一号支那側申出ノ各契約ハ已ニ世間ニ漏洩シ居ルモノモ有リ又内容ヨリ云フモ今トナリテハ左程秘密ニ附スルヲ必要トスルモノモ是無キ様存ゼラルト同時ニ他面各種契約ヲ日本側関係ノ分ノミ发表スルハ謂ハレナク且ツ日本側関係ノ分ヲ先ニ引続キ發表シ世間ノ批評ニ委シタル上ニテ後ヨリ五国側関係ノ分ヲ发表スルガ如キハ我ニ取り不得策ニ付(一)往電第三一六号施秘書談話ノ次第モ有リ旁五国側ノ分モ同様陸続發表スルコト(二)右發表ノ順序ハ同種類ノモノニ付日本側ノ分ト同日若ハ少クトモ相連続シテ(例ヘバ三井無線電信借款及「マルコニー」交通部無線電信借款及「マルコニー」陸軍部無線電信借款ト云フガ如ク)發表スルコトヲ条件トシテ全部支那側申出ノ通承諾スルコト致シタシ右御承認ヲ請フ

八五〇 三月十三日 内田外務大臣ヨリ

在中國小幡公使宛(電報)

中国側申越ノ契約ニ關シ差當リ發表見合ス
ル様申入方訓令ノ件

第三五〇号至急
貴電第三五一号及第三五三号ニ關シ本件ハ各關係厅ト協議

第三五七号

(三月十四日接受)

往電第三五一号ニ關シ三月十三日外交總長代理ニ會見ノ際支那政府ヨリ申出デラレタル公表方ノ義ハ直ニ帝国政府ニ電報シ置キタルニ付電訓ニ接シ次第何分ノ儀回答スペキモ右ハ独リ日支間ノ條約協定契約ニ限ラズ支那ト他国トノ條約協定契約ヲモ当然公表セラルベキ義ト信スルガ帝国政府ニ報告ノ都合アリ支那政府ノ確実ナル意嚮如何ト確メタルニ外交總長代理ハ御承知ノ通日支間ノ條約協定契約ハ世上種々ナル謡言ノ因トナリ殊ニ巴里會議開催後各方面ヨリ其真偽ニ付問合セアリ政府ニ於テモ夫々説明ヲ与ヘ居ルモ協

部ニテ承知ノ分ハ勿論、承知ナキ分モ其他ニ種々有ルベシト信ゼラルニ付キ各關係當局ニ於テ詳細取調ノ上逐一公表セラレ公平ヲ旨トシ偏頗ノ処置之ナキ様注意有リタキ旨申入置ケリ、尚外交總長代理ヨリ十四日ニ公表スペキ日支軍事協定ハ日本側希望ノ通り同日午後四時迄政府公報ノ配布ヲ見合ハスニ同意シタルモ十五日以後公表スペキモノニ付キ毎日午後四時迄政府公報ノ配布ヲ見合ハスガ如キハ支那側ノ自由ニ任せラレタキ旨申出デタリ

第三五五号

八五二 三月十五日 在中國小幡公使ヨリ

内田外務大臣ヨリ(電報)

中国側ハ十四日軍事協定ヲ公表シ度旨申出デタルニ付ナキ分ヨリ引続キ公表シ度旨申出デタルニ付

ラルベキコト当然ナルベシト申出タルニ外交總長代理ハ外

交部ニテ承知セル支英間ノ「マルコニー」電信借款契約ノ如キハ勿論公表スル筈ナルモ本使ノ述ベタル各契約等ノ詳細ハ未ダ外交部ニテ承知セザル様記憶スルニ付一応取調ノ上公表スペキモノニ属スルモノナラバ勿論公表ノ处置ヲ執ルベキ旨答ヘタリ依テ更ニ本使ハ前述契約ノ如キハ单ニ一例トシテ本使差当リノ記憶ノ儘ヲ述ベタル次第ニ付キ外交

第三五五号

(三月十六日接受)

貴電第三五〇号ニ關シ御電訓ノ趣旨早速外交部ニ申入レ

為念書面ヲ送付シ置キタル處支那側ニ於テハ既二十四日軍事協約ヲ公表シ十五日ヨリ毎日公表ノ手續ヲ執リ居ルニ付

之ヲ全然延期スルハ又種々ナル謡言ヲ生ズルノ恐レモアリ可成引続キ公表致シタキ希望ナルモ日本側ニ於テ各關係

ヲ要スルノミナラズ實業借款ノ条件ヲ發表スルハ当事者ノ利益ニ重大ノ影響ヲ及ホスコトアルベク從而政府限ニテ同意シ難キ事情モ有之ニ付軍事協定ヲ除クノ外追而何分ノ義申進スル迄ハ發表見合ハス様支那側ヘ申入アリ度シ

八五一 三月十三日 在中國小幡公使ヨリ

内田外務大臣ヨリ(電報)

日中間契約類ト共ニ第三國トノ契約ヲモ發表
スペキ旨外交總長代理言明ニ付偏頗ノ処置ナ

キ様注意方申入置キタル件

第三五七号

及当事者ニ協議ヲ要セラル都合アルニ於テハ直ニ公表ス
ルモ差支ナシト認メラルル分例ヘバ済順高徐鉄道借款予備

契約又ハ日金一千万円第一回前借り契約同第二回契約同第三
回契約等順序ハ如何ニナリテモ宜シキニ付世上誤解ヲ避ク

ル為メ差支無キ分ヨリ引続キ公表方希望申出アリタリ就テ
ハ支那側内情ノ次第モアリ往電第三五一号十二件ノ内日本

側ニ於テ不取敢差支ナキモノト認メラルル分ダケニテモ公
表方御詮議ノ上至急御回訓ヲ請フ

八五三 三月十六日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）
日中間ノ契約類発表ニ關シ我方ヨリ何分ノ通
知アル迄ハ実行セザル様申入方訓令ノ件

第三七一号至急
貴電第三七五号ニ閲シ

貴電第三五一号御来示ノ十二件ハ何レモ關係方面トノ協議
ヲ要スルニ付目下取急キ手続中ナルモ決定迄ニハ尚恐ラク
両三日ヲ要スル見込ニ付迫テ我方ヨリ何分ノ義申進スルニ
先チ支那側ニ於テ一契約タリトモ断シテ発表スルカ如キコ
トナキ様可然御措置アリタシ

タリ。尚支那側ハ最初政府公報ニテ公表スル筈ナリシモ之
ヲ止メ軍事協定モ外交部ニ於テ各新聞社ニ公表セリ。

八四五 三月十七日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）
参戰借款契約外部漏洩ニ付外交部遺憾表明並

十九日ニハ日本関係ノ分公表シ度旨申出ニ付

公表差支ナキ分ニ閲シ請訓ノ件

第三九〇号大至急

(三月十八日接受)

往電第三八六号ニ閲シ

外交総長代理ハ三月十七日午後祝秘書ヲ當館ニ遣ハシ参戰

借款契約ガ外国通信社ニ漏レタルハ意外トスル所ニシテ勿

論外部ヨリ漏レタルモノニハ之ナキモ何分公表スペキ各国

トノ条約、契約等ノ写ハ外交部以外ノ他ノ機関ニモ所持シ

居ルニ付キ何レヨリ漏レタルヤハ判明シ難キモ外交部ノ公

表以前ニ漏レタルハ頗ル遺憾ナリトシ尤モ外交部ニテ本件

公表ヲ延期スレバスル程却テ種々ナル語言ヲ生ズル虞有リ

外交部ノ立場トシテモ甚ダ困難ナル事情有リ愈々明十八日

米国ノ分ヲ公表スベキニ付キ十九日ハ日本ノ中何レニテモ

差支ナキ分公表方至急東京ヘ打合有度クト申出デタリ右ニ

貴電第三七一号ノ件三月十七日外交部ニ申入レオクト同時
ニ参戰借款契約ガ往電三八五号ノ通リニ英字新聞ニ掲載セ
ラレ居ルヲ詰問シタルニ周通信司長ハ外交部ニ於テハ十五
日ヨリ毎日引続キ公表ノ筈ナリシモ日本側ヨリ打合セノ都
合アリ延期方申出アリタルニ付（往電第三七五号参照）公
表ヲ見合セ居ル次第ナルガ該英字新聞ノ記事ガ如何ニシテ
漏洩シタルヤハ承知セズ。右ハ全然外交部ノ責任ヲ負ハザ
ル処ナリト述べ貴電第三七一号当方申入ノ次第ハ早速總長
代理ニ伝フ可キ旨ヲ答ヘタリ。十六日ノ漢字新聞ニハ外交
部ニテ十五日ヨリ公表セラル可カリシ筈ノ支那政府ト各国
トノ条約契約等ハ日本公使館ヨリ延期方ノ申出アリタルニ
付暫時公表ヲ見合ス可シトノ通信ヲ掲ゲニ三漢字新聞ニハ
支那政府ガ各国トノ条約契約等ヲ公表セントスルニ日本ハ
何ガ故ニ該公表ヲ躊躇スルヤトノ短評ヲ掲載スルモノアリ

貴電第三九〇号ニ件三月十七日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）
日中間ノ契約類公表方ニ閲スル訓令執行竝參

戦借款契約英字紙掲載ニ付詰問ノ件

第三八六号

貴電第三九〇号ニ件三月十七日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）

八五六 三月十八日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）
日本側ニ於テ公表差支ナキ諸契約ニ付回訓ノ件

第三七六号至急

貴電第三九〇号ニ閲シ

シ
左記
當リ左記ノ諸契約公表方ニ同意セラレ差支ナン尤為念四國
団側ト予メ一応協議相成度シ尙ホ発表日取ガ十九日ナル
ト其以後ナルトヲ問ハズ確定ノ上ハ為念當方ニ電報アリタ

左記

- (一) 第二次善後借款第一回一千万元前貸契約（六年八月廿八日）
(二) 同第二回一千万元前貸契約（七年一月六日）
(三) 同第三回一千万元前貸契約（七年七月五日）
(四) 同第一回前貸契約ニヨリ発行シタル民国七年大蔵省証券借換契約（七年七月十九日）

ハ五八 三月十九日 内田外務大臣宛（電報）
米中運河借款公表ノ件

八五九 三月二十日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛 (電報)

米国運河借款契約全部郵送セラレタキ件

郵送アリタク尚今後公表ノモノハ日本関係ト外国関係ト
一月ハニミ考ニヨリ行ニテ平ノ置ニシテ三十日迄

今般支那政府ヨリ在支公使ニ对于參戰借款外十一種ノ契約類ヲ公表シタキ旨申越ノ件ニ關シ在支公使ヨリ別紙甲乙丙

政機密合送第一一八号

内田外務大臣ヨリ
高橋大蔵、加藤海軍、
田中陸軍、野田通信各大臣宛
ニ閔シ意向問合ノ件

種ノ契約

八六〇 三月二十日 公表差支ナキ日中間諸契約二付外交部ニ通知
内田外務大臣宛（電報）
（在中国小幡公使ヨリ）

レ居ルニ付之が取締人至難ナルハ遺憾ナリト答ヘタリ又參
戰借款及軍器契約ハ有吉来電ニ依レバ既ニ上海ニ於テモ新
聞ニ掲載セル由ニ付今后ノ公表振り打合等ノ都合モアリ既
ニ御電訓以外ノ分ニ対シテモ公表方至急御詮議ノ上御回訓

ヲ
請フ

八六

第四

往電第

三

二

二
存案

八日曜

モノヲ

三

タ公表ノ二トニ決定セバ（四）（五）^テ同日及廿六日ニ亘
リ出スコトトスヘキモ其ハ確約シ難ク万一千公表日取ニ間隔
ヲ生スルコトナル時ハ又々日本ノ故障云々ナド世間喧シ

一〇 欧洲戦争ノ際中国及各国間ニ締結ノ条約及契約類公表ノ件 八六〇 八六一

一〇 欧洲戦争ノ際中国及各国間ニ締結ノ条約及契約類公表ノ件 八六二 八六三

九五六

キニ付他ノ分ニ対スル日本側ノ回答モ至急取連ハレタシト申出デタリ本件ハ支那側ヨリ件名ヲ申出テテヨリ既二十日ヲ過キ居リ余リ長ク日本側内部ノ協議云々ト云ヒテ引張リ置ケモ面白カラズ且往電三五三号中ニモ申進シタル通既ニ漏洩シタルモノモアリテ此等ハ其内容疾ク世間ニ知レ亘リ居ルモノニモアリ旁貴方御都合モ有之トハ存スルモ何卒至急御決定ノ上片端ヨリ御電示相成ル様希望ス

八六二 三月二十三日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

戦争開始ノ前後ヲ問ハズ且中国及各国間取極

ノ公平一律公表ヲ条件トシテ中国中越ノ日中

間取極公表ニ異存ナキ旨回訓ノ件

第四〇一號至急

貴電第三五七号及第三七五号ニ關シ各種条約協約契約等ノ中商取引ニ関スル契約発表ノ如キハ當業ニ取り重大ノ利害關係ヲ有スルヲ以テ之ヲ公表スルハ性質上妥当ナラズト雖帝国政府カ右公表ヲ拒絶スル結果我公正ナル政策ニ誤解ヲ招キ又支那政府ノ立場ヲ困難ナラシムルハ帝国政府ノ欲セナル所ナルニ付支那側ニ於テ戦争開始ノ前後ヲ問ハス又日

ノ件

第四三六号至急

貴電第四〇一号ハ往電第四二九号ト行違タルヤニ認メラルル処公表日取ニ間隔ヲ生スルコト頗ル面白カラザルハ右往電ノ通ニ付御来示ノ趣旨ハ不取敢早速外交部へ申入レ協議ヲ尽スヘキモ右往電ノ事情篤ト御賢察ノ上右ニ対シ更メテ御回訓ヲ請フ尤モ參戰借款ハ既ニ附屬書ニ通迄新聞ニ漏洩シ居ルコト往電第三八五号ノ通リニテ右附屬書ヲ除キ公表スル時ハ必ス又々物議ヲ生スヘキニ付該契約ハ何レニセヨ右附屬書共公表ノコトトスルノ外ナシト存ス東少将モ同感ナリ

他ノ点ニ関シテモ後電ヲ以テ申進スヘキモ右不取敢電報ス

八六四 三月二十五日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

契約類公表ハ欧洲戦争開始後ノ分ニ限り度旨
並責任問題ニ關シ外交總長代理談話報告ノ件

第四四六号至急

貴電第四〇一号ニ關シ三月廿四日本使外交總長代理ニ會見ノ節右貴電御來示ノ趣旨ヲ申入レ同總長代理ハ

本関係ノ分ト其他ノ分トニ拘ラス支那政府ト各国トノ間ニ締結セラレタル同種ノ条約協約契約等ニシテ從来公表セラレザリシモノヲ公平ニ一律公表スルコトトスルニ於テ貴電第三五一号ノ通日本關係ノ分モ同時ニ公表スルコトニ異存ナシ尤モ公表ノ結果万一日本側契約当事者ノ有スル權利ニ支障ヲ生スルカ如キ事アル場合ニハ支那政府ニ於テ責任ヲ負フコト期待スル旨申添置カレ度シ將又泰平組合ノ第ニ負フコト期待スル旨申添置カレ度シ將又泰平組合ノ第一回及第二回軍器契約ハ泰平組合ニ於テ今日迄ノ所之力發表ニ同意スルニ至ラズ目下折角説得中ニ付追テ何分ノ義申進スヘク從テ右両契約発表ノ件ハ結局後廻ハシト相成様御取計アリタシ尚各個ノ取極中本取極以外附属取極アル場合ニ如何ナル範囲マテ之ヲ添附公表スヘキヤハ一々當方ト協議ノ上決定スルコト致度又発表ニ付テハ夫々準備ヲ要スル次第ニ付支那トノ間ニ話合纏リタル節ハ其旨當方ヘ御電報ノ後相當時日ヲ經テ双方同時発表ノコトト致度ニ付右様御含ノ上可然取計ハレタシ

八六三 三月二十四日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

參戰借款契約ハ附屬書共公表ノ外無キ旨稟申

(一) 戰争開始ノ前後ヲ問ハズ (往電第四三九号ノ通請訓シ置キタルモ支那側ニハ御電訓ニ基キ一応申入レタリ) トハ如何ナル範囲ヲ意味スルヤ不明ナリ実ハ過日モ御話セシ通(往電第三五七号参照) 今回ノ公表ハ開戦後ニ種々ナル協定協約ノ締結セラレタルニ対シ臆測誤解ノ伝ハレルニツキ之レ等ノ誤解ヲ一掃センタメ開戦后ニ於ケル各国ト締結ノ分一律公表方國務院ニ於テ議決シタル次第ナリ從テ今日ニ至リ戦前ノ分モ々公表ノ手続ヲ取ルハ煩雜ナル而已ナラズ既ニ世上ニ周知セラレ履行セラレ居ルニ付公表スペキモノハ開戦后ノ範囲ト致シタキ旨申述べタリ

(二) 同總長代理カ公表ノ結果万一日本側契約当事者ノ有スル權利ニ支障ヲ生スルカ如キコトアル場合ニハ支那政府ニ於テ責任ヲ負フコト期待ストハ如何ナル意味ナルヤト問ヒタルニ対シ本使ハ公表ノ結果当事者カ有スル權利ニ影響ヲ受ケ損害又ハ不利益ヲ生シタル場合ニ其責任ハ支那政府ニ負ハルルコトヲ期待スルノ意ナリト答ヘタル處同總長代理ハ右ノ意味ハ頗ル漠然ニシテ範囲判明セス軍事協定ノ如キ本来双方秘密ヲ要シタルモノハ兎ニ角今後公表セントスル契約ノ多クハ既ニ世上ニ洩レ居ルモノニ付公表ニ依リ当事

者カ損害又ハ不利益ヲ蒙ムルコトナカルヘク英米両国ノ分ハ既ニ両国ニ於テ公表ヲ承諾シ何等斯カル申出ナク公表ハ單ニ形式上ノ事トテ甚ダ軽ク感シ居ル行懸ト且本件ハ日本政府ノ同意ヲ経テ公表スル次第ニ付斯ノ如キ責任ハ支那政府ニ於テ負ヒ難キ旨申述タリ

依テ本使ハ英米ノ分ニ対シテハ何等言葉ヲ挿ム要ナキモ日本ノ分ニ対シテハ支那政府ノ申出ニ依リ日本政府ヨリ各当事者ニ打合セテ公表スル次第ニテ右支障ヲ來タスノ虞アル場合アルベシトテ例ヲ述べ右公表ノ結果ニ依リ当事者ノ権利ニ支障ヲ生ジタル場合ニハ支那政府ニ於テ其責任ヲ負ハルル事ハ当然ナルモ本件ニ就キ双方議論ヲ重ヌルモ際限ナキヲ以テ只今御申述ノ次第ハ本国政府ニ電報スペシト答へ儘ニ附セラルル様切望ス尚本使ヨリ開戦後ニ於ケルモノダケニテモ英米其他トノ契約ニテ今回公表ノ以外ニ尚アルベシト思考セラルルガスノ如キ契約アラバ勿論公表セラルル苦ナルベシト確メタル処同総長代理ハ各国ノ分ヲ一律公平ニ公表スペキニ付外交部ニ於テ其辺ハ充分取調ノ上アルモノハ其儘ヲ公表スル事勿論ナリト申述ベタリ

附属書類公表ノ範囲及公表日取ニ就キ館員ヲシテ外交部ヘ打合サシメタル處外交部ニ於テハ昨二十四日外交総長代理ヨリ本使ニ話シタル如ク世上ノ誤解謔言ヲ一掃セムガ為ニ公表スルモノナルニ付附屬文書ノ公表ナキ時ハ更ニ疑心暗鬼ヲ生ジ却テ誤解ヲ來タスニ付數国共一律ニ附屬文書全部ヲ公表スル考ナリ又公表日取ハ日本側ノ都合ニ依リ今日迄延期セルニ付米国ノ分ハ運河鉄道借款各全部公表ヲ終リタル次第モ有リ至急決定致シ度キ旨述ベタルニ付我方ハ貴電第四〇一号電訓ノ趣旨ニ従ヒ日本側ニ於テモ同時ニ発表ノ都合モアリ又單ニ附屬文書全部ト言ヒテモ明ナラズ外交部ニテ公表セムトスル附屬文書ノ件数ヲ知ル要アリ且日取モ相当ノ時日ヲ要スト主張シ種々協議ノ結果更ニ日本政府ノ電訓ヲ俟チテ公表スル了解ノ下ニ公表セントスル文書ノ具体的範囲及外交部ニテ新聞社ニ交付スペキ日取ヲ左記ノ如ク申シタリ

左記

三月二十八日「參戰借款契約及ビ附約並ニ声明書各一件」
同二十九日「英國マルコニー無線電信契約」
同三十日 日曜ニ付キ公表セズ

附属書類公表ノ範囲等ニ関シテハ支那側ハ苟モアルモノハ全部出ス趣旨ナリト言ヒ居レリアルモノハ全部ト言ヒテモ明ナラザルニ付間違ナキ様支那ニ於テ公表スル積リノ文書件名具体的ニ一々項目ヲ挙ゲテ別ニ電報ス
尚正金前貸借替第一回及第二回契約ハ何レモ二十七日新聞社ヘ交附スル事ニ決定セリ

八六五 三月二十六日 在中国小幡公使ヨリ

内田外務大臣死(電報)

シームス・カレー鉄道借款契約公表ノ件

第四四八号

支那政府ハ三月廿四日「シームスカレー」鉄道契約ヲ公表セリ

八六六 三月二十六日 在中国小幡公使ヨリ

内田外務大臣死(電報)

公表文書ノ具体的範囲及公表ノ日取ニ付外交部ノ我館員ニ対スル申出ニ関シ右申出ノ通り

承認方稟申及請訓ノ件

第四四九号大至急 (三月二十七日接受)

往電第四四六号末段ニ関シ

同三十一日「日本無線電信契約」

四月一日「英國マルコニー無線電信契約」

同二日「日本有線電信改良借款契約一件並ニ附屬書面及ビ承認書等合計七件」

同三日「吉黒林鉱借款契約一件並附屬書面五件及承認書一件」

同四日「濟順高徐鉄道予備契約一件」

同五日「満蒙鉄道借款予備契約一件及ビ右鉄道借款予備契約二件ニ関スル交換文書」

同六日 日曜ニ付キ公表セズ

同七日「興亞公司實業借款契約一件及ビ附帶契約二件」

同八日 支那祭日ニ付キ公表セズ

同九日「泰平公司第一回軍器借款契約及ビ附屬軍器交附期限予定表」(右第二回契約同上)

尚右ノ中興亞借款ニ関シテハ後電ヲ以テ別ニ電票スペキモ其他ハ此上更ニ延期又ハ変更ヲ云々スルハ面白カラザルニ付右予定日取ノ通り全部公表方御承認ノ上至急御回訓ヲ請

八六七

三月二十六日

在中国小幡公使（ヨリ）
内田外務大臣宛（電報）

マルコニー無線電信契約全文漢字紙ニ掲載ノ

件

第四五五号

(三月二十七日接受)

二十六日ノ漢字新聞ニ路透ノ供給ニカカル「マルコニー」無線電信契約全文ヲ載セ居レリ為念交通部へ確メタルニ同部ノ公表セルモノニ非ズト言フ多分「マルコニー」側ニテ先ヲ越シテ發表シタルモノト思考セラル

八六八 三月二十七日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）

日中間各取極中本取極以外ニ添付公表スベキ
附属取極ノ範囲ニ付中國側ノ意向確メ方訓令
ノ件

別電 同日内田外務大臣發在中国小幡公使宛電報第四一五号

我方ノ意図スル公表スベキ附属取極ノ範囲

第四一四号至急

貴電第四三六号ニ關シ支那側ニシテ往電第四〇一号ノ条件

ト能ハザルモノ多キニ反シ日本關係ノ條約契約ハ殆ト全部諸外国ニ暴露セラルコトナリ事實上頗ル不公平ノ結果ヲ來スヘク且關係各省及当事者ニ於テモ戰爭ノ前後ヲ問ハズ外國ノ分ヲ一律公表セシムルコトヲ条件ニ加フルコトトシテ漸ク公表方ニ贊同シタル行懸ニ顧ミ之ヲ戰爭開始後ノモノノミニ限局スルハ甚困難ニシテ帝国政府トシテハ結局或ハ公表ニ対シ同意シ難キニ至ルヤモ難計ヲ恐ル就テハ往電第四〇一号ノ趣旨ヲ支那側ニ申入レラレ其結果支那側ノ承諾ヲ得ズ惹テ外國ニ兔角ノ取沙汰ヲ生スルコトアリトスルモ無拠次第二付ソレ等ヲ顧念スルコトナク兔ニ角貴官ハ前記往電通申入相成度シ将又貴電第四三九号後段兵器契約ニ付テハ泰平組合ニ説得シタル處同組合ニテハ該契約全文ヲ公表スルトキハ各種兵器ノ単価世間ニ知レ渡リ地方督軍連モ中央政府ノ分ト自己ニ対スル分ト価格ヲ異ニシ且支払方法モ中央口ハ地方口ト相違シ居ル次第ヲ確知スルコトトナリ旁々世間ニ公表ナルコトハ甚苦痛トスル所ナリ尤モ一部ハ既ニ新聞ニ漏洩シタリト雖右ハ第二次契約ナルノミナラズ政府ノ公表トハ性質ヲ異ニシ世間ノ信用ニモ差違アリトテ容易ニ公表ヲ承諾セザルヲ以テ目下陸軍側トモ交渉

中ナリ御含迄

(別電)

三月二十七日内田外務大臣發在中国小幡公使宛電報第四一五号

我方ノ意図スル公表スベキ附属取極ノ範囲

第四一五号至急

(一) 參戰借款別約及声明書並參戰軍經費第一月乃至第五月予算額

(二) 吉黑兩省金鉱森林借款契約（客年八月八日附機密第三一三号貴信附屬書全部）

(三) 済順高徐兩鐵道借款予備契約

(四) 滿蒙四鐵道借款予備契約

(五) 客年九月二十四日附日支交換公文三種

附屬書全部

(六) 無線電信借款契約（客年二月二十八日附機密第八二号貴信添付ノ契約書全部ノ邦訳文）

(八) 興亞公司借款契約（大正五年九月十一日附機密第二五二号貴信附屬書類全部）

(以上各項發表物中日支兩文アルモノハ我方ニテハ日本文

一〇 欧洲戦争ノ際中国及各国間ニ締結ノ条約及契約類公表ノ件 八六九

八七〇 三月二十七日

ノ分ノミヲ發表ス)

八六九 三月二十七日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

八七〇 三月二十八日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

九六二

戦争開始ノ前後ヲ問ハズ且中国及各国間取極
ノ公平一律公表ノ我方主張貫徹方訓令ノ件

ノ公平一律公表ノ我方主張貫徹方訓令ノ件

申出デタルニ付詮議方稟請ノ件

(三月二十八日接受)

第四一八号 至急

貴電第四四六号及第四四九号閱悉右御來示ノ点ニ閑シテハ

往電第四一四号ヲ以テ申進シタルニ付委細右ニテ御承知ノ

上再応支那側ニ対シ當方ノ主張ヲ貫徹セラルル様努メラレ

タク支那側ニ於テ之ニ同意スルトキハ貴電第四四九号「左記」ノ通公表スルコトニ異存ナシ尤モ兵器契約ニ閑シテハ

未タ泰平組合ノ同意ヲ得ルニ至ラザルニ付追而何分ノ義申

進スル迄發表方見合ハサレタシ尚貴電第四五〇号ニ閑シ支

那側カ市俄古大陸通商銀行トノ借款契約ノ公表ヲ見合ハセ

ントスルカ如キハ余リニ勝手ナルヲ以テ是非同契約ヲ發表

セシムルコトシ度興亞公司借款契約ハ當方ニ於テモ勿論

發表ヲ希望スル次第ニ付該契約ヲ發表セズトスル

モ他国ノ協約契約發表方ニ左程影響セザル模様ナルニ於テ

ハ貴見ノ通リ公表見合方異存ナシ不取敢申進ス

第四七四号

往電第四四九号ニ閑シ外交部ヨリ更ニ左ノ二契約公表方申出タルニ附御詮議ノ上至急御電報ヲ請フ

一、日本興業銀行對交通銀行日金五百万円借款契約(六年

一月二十日締結)

二、同上統借日金一百万円借款契約(六年九月廿八日締結)

尚往電第四四九号ニ閑シテハ公表(上ノ都合)ニテ必ズシモ一々右往電ノ通トスル必要無之ニ付全部一時ニ承認ヲ得難キニ於テハ矢張差支之レナキ分ヲ片端ヨリ電報ヲ請ヒタキ次第ナリ為念

八七一 三月二十八日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

我方ノ意図スル公表文書中ノ無線電信契約ニ付指示ノ件

第四二四号 至急

往電第四一五号(乙)ニ閑シ當方ニテハ無線電信契約ハ本契約見積書附帶契約各一件及附属取極其一乃至其三ノ三件合計六件ノミニ限ルコトスル筈ナリ為念

八七二 三月二十九日

内田外務大臣宛(電報)

歐洲戦争開始前ノ契約類公表方ニ閑スル我主
張貫徹至難ニ付意見稟申ノ件

第四八二号 至急

(三月三十日接受)

貴電第四一四号敬承(「統」ハ延着、二十八日后十時過接
到)開戦前ノ分ヲモ公表セシムル儀支那側ヘ申入ノ件ハ過
日一応外交部へ申入アルモ更ニ先方ノ同意ヲ得ル様充分尽
力致スベシ。但シ開戦前ト云フモ何日頃以前ノ分ニテ然ル
ベキヤ其辺ノ御意向至急御回示ヲ得タク又外国側ノ分ニ付
ニ好都合カト存ズ。但公表スベキ契約ヲ開戦ノ前後ニ依リ
区分スルコト純理上謂レナク、且ツ實際ニ於テモ吾ニ不利
ノ点アルコトハ御同感ニシテ其趣旨ヲ体シ前記ノ通り更ニ
申入ヲナス可キモ貴電第四一四号ニ依レバ之ヲ現ニ具体的
ノ分ノミヲ發表ス)

一一〇 欧洲戦争ノ際中国及各国間ニ締結ノ条約及契約類公表ノ件 八七二

九六三

馳セニ提出シテ之ヲ固執スルコトハ如何之有ルベキカ

貴電第四〇一号ニ閲シテハ一方往電第四三九号ヲ以テ卑見

申上ルト同時ニ他面折角ノ御訓令ニ付往電第四四六号ノ通

一応試ミニ申入レ置キタル様ノ次第二モ有之尚ホ充分尽力

致スヘキコト前述ノ通ナルモ右往電第四四六号先方ノ答弁

振ニテモ大抵御考察ノコトト存セラル通今トナリテハ支

那側ノ同意ヲ得ルコト或ハ至難ニハ無之ヤト存セラレ貴電

第四一七号ニ閲スル先方ノ諾否ニ依リテハ帝国政府トシテ

コトナルモ支那側ハ元々外間殊ニ主トシテ外国人ニ対スル

思惑ニ基キ本件公表問題ヲ担キ出シタルモノニシテ從テ我

ニ於テ公表ヲ拒ムトモ支那側ハ實際ニ於テハ余り頓著セズ

何トカンテ之ヲ洩シ我ヨリ抗議スレハ兎ヤ角云ヒテ責任ヲ

回避シ巧ニ彼等一流ノ瓢簞鯨式ヲ發揮シ一方世間ハ正式ニ

公表シタルモノニアラズトモ之ヲ同様ニ取扱フヘク而シテ

剩ヘ世論ハ囂々日本ノ不公正ヲ罵ルヘシ貴電第四一四号ニ

依レハ之又顧念スルニ及バズトノコトナルモ愈々右ノ始末

ニ立到リタル其ノ節ハ影響ノ及フ処決シテ一時ニ止マラズ

我方今後ノ施設ニ累ヲ及ホスコト鮮カラザルヘシト存セラ

ルル次第ナリ就テハ右本使微意ノ存スル所篤ト御酌料ノ上
本使ノ尽力ニ拘ハラズ不幸支那側ノ同意ヲ得ルコト能ハザ
ル場合ニハ結局開戦後ノ分ニ付之迄進メ來リタル公表範囲
ニ閲スル交渉ヲ纏メ之カ公表ニ同意スルニ最後ノ腹ヲ据置
カルルコトニ御同意ヲ請置キタシ

尙ホ支那側ニ於テハ貴電第四一五号御来示ノ各件中(一)ノ

内参戦軍経費予算額ハ参戦借款ノ附屬書ニアラズトモ云ヒ

得ルニ付全部公表セラレサルコトシ度ク又(二)吉黒林鉱借款

款附屬書滙銀ト興銀トノ間ノ契約モ公表セザル考ニテ(後段参照)因交換公文三種ノ件ハ先方ニテ取調ヘノ上回報ス

ヘシトノコトニテ(三)無線電信ノ件ハ貴電第四一四号接到前

其ノ範囲ニ付疑義アリタル為メ支那側ヘ申入ヲ差控ヘ御問合ニ及ハントシタル処ヘ右貴電接到シタル次第二付該件ノ

コトハ之ヨリ外交部ヘ申入ルヘク(四)興亞借款ノ件モ往電第四五〇号ニ付該件モ之ヨリ外交部ヘ申入ルヘク將又

接続シタル次第二付該件モ之ヨリ外交部ヘ申入ルヘク將又

貴電第四一九号有線電信借款ノ件ハ御申越ノ通承認書案ヲ

照会文ヨリ離シ一件ニ算ヘタリシモノノ由ナルモ右承認書

案ハ承認書自体ト重複スルニ付之ヲ省キ結局附屬書六件ト

スヘシトノコト又吉黒林鉱借款ノ件ハ件數ニ誤算アリシガ
要スルニ前記ノ通滙銀ト興銀トノ間ノ契約ヲ省キ其ノ他ハ

客年八月八日附機密第三一三号拙信送附ノ書類全部ヲ公表

スル考ニテ右以外貴電第四一五号(三)御申越ノ通ニテ異

存ナシトノコトナリ尚ホ泰平組合ノ契約ハ往電第四三九号

末段ノ通是非トモ公表ヲ承諾スル様同組合及陸軍側ヘモ更

ニ御交渉相成度シ

八七三 三月二十九日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

中国及諸外国間取極中ノ未公表ノモノニ付通
報ノ件

第四二九号

往電第四一四号ニ閲シ外国關係ノ取極ニシテ未タ公表セラ

レザルモノノ内差当リ心付ノモノ左ノ如シ御参考迄

(一)米国導淮借款

(二)俄国スゴダ借款(第一次乃至第三次)

(三)中法実業銀行借款

(四)リー・ヒッギンソン借款

(五)米国陝西熱河石油借款

正金前貸借換契約二通ハ往電第四四六号末段ノ通り三月二十七日外交部ヨリ各新聞社ニ交付セリ。

八七四 三月二十九日 在中国小幡公使(電報)
正金前貸借換契約二通各新聞社ニ交付ノ件

第四八三号

正金前貸借換契約二通ハ往電第四四六号末段ノ通り三月二十七日外交部ヨリ各新聞社ニ交付セリ。

八七五 四月三日 在中国小幡公使(電報)
開戦前ノ文書公表ニ中国側不同意ノ場合ニハ

公表ノ範囲ヲ開戦後ノ分ニ局限シ差支ナキ旨

一〇 欧洲戦争ノ際中国及各国間ニ締結ノ条約及契約類公表ノ件 八七三 八七四 八七五

九六五

回訓ノ件

貴電第四八二号ニ閔シ

支那側ヲシテ遂ニ開戦前ノ分ノ公表ニ同意セシムルコト能

ハザルトキハ公表ノ範囲ヲ開戦後ノ分ニ限局セラレ差支ナシ

尚前記貴電ノ四参戦軍ノ経費予算額ハ必ズシモ同時ニ公表

スルヲ要セズ吉黒借款附屬書中淮銀ト興銀トノ契約モ公表

セザルコトニ異存ナシ又有線電信借款ノ承認書案ハ重複ニ

ハ相違ナケレドモ既ニ印刷出来後ニ付当方ニテハ之レヲモ

発表スル筈將又貴電第四七四号興銀対交通銀行借款契約二

件ノ公表ニモ異存ナシ尚軍器契約ノ件ハ別電ヲ以テ追電ス

八七六 四月三日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

戦争開始前ニ中国及各国間ニ締結ノ取極ヲモ

公平一律公表方ニ閔シ船津ヲシテ中国当局ニ

要求セシメタルニ付報告ノ件

(四月四日接受)

貴電第四一八号ニ閔シテハ往電第四八二号ニ対スル御回訓

第五〇七号

ヘキ答ナリ旁々政府ハ其立場ヲ擁護スル為メ是迄相当弁解ニ力メタルモ何等効果ナキ為メ寧口契約其モノヲ(脱)始メテ今回ノ如キ措置ニ出デタル次第ナレハ彼我ノ利益ノ為メ連続發表スルノ運ヒニ至ル様御援助アランコトヲ切望スト述ベタルニ付船津ハ支那政府苦心ノアル處ハ然ルコトナカラ此際欧戦中ノモノ殊ニ日本關係ノモノニ限リ多數發表スル時ハ外間ニ於テハ如何ニモ日本ノミ勝手ナル契約ヲ締結シタルカ如キ感ヲ起サシメ甚タ面白カラサル且ツ不公平ナル措置ト認メラルニ付是非帝国政府希望ノ通り然ルヘク取計ハレタキ旨ヲ縷述シテ引取りタル趣ナリ

尚貴電第四四九号ハ三日正ニ接到セリ

八七七 四月四日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

公表問題ニ閔シ中國當局ノ船津ニ対スル陳述

ヲ確メ旁西田ヲシテ公表日取ヲ打合セシメタ

ル件

第五一五号 至急

(四月五日接受)

貴電第四四九号ニ閔シ

歐洲開戦後ノ日本關係ノ分公表日取確定方ニ付外交部ヨリ

一〇 欧洲戦争ノ際中国及各国間ニ締結ノ条約及契約類公表ノ件 八七七

ニ接シタル上ニテ我方主張貫徹ヲ試ムル方可然ト思考シ支那側トノ交渉ヲ差控ヘ居リタル処支那側ヨリハ殆ント毎日ノ如ク契約公表ノ時日確定方ヲ督促シ来タルニ付四月二日

船津ヲシテ周通商司長及施秘書ヲ往訪(陳繼長代理差支ヘアリ)欧戦前ニ於ケル条約契約中未発表ノ分モ此際発表方

更ニ要求セシメタル処先方ハ矢張往電第四四六号陳繼長代理弁明ノ通今発表ノ目的ハ欧戦中締結ノ各種契約ニ対スル外間ノ誤解疑惑ヲ一掃セシカ為ニシテ既ニ此点ヲ特ニ大

統ニ具申シテ其批准ヲ得タル次第ナレハ此際不必要ノ欧戦前ニ於ケル条約契約等ヲ発表スルヨコトニ徐大總統ニ

稟請スルコトハ甚夕面白カラズ外交部ニテハ到底取計ヒ兼ヌルコトト信ズルモ折角再応ノ御申出ナルヲ以テ巨細總長代理ニ報告スヘシ元來今回各種条約發表ニ閔シテハ他關係

國ニ於テ何等異議ナキニ日本獨リ種々ノ難題ヲ申出デラルルハ甚々遺憾トスル処ナリ蓋シ最近支那ト諸外国間ニ締結

セラレタル各種契約其他ニ閔シ内外輿論ノ非難攻撃最モ激シキハ日支間ノ諸契約ナリトス右ハ支那ニ取り特ニ主權乃

至利權ヲ損シタル為メナルヤト云フニ然ラズ其實我政府ハ是等条約締結ノ結果種々ノ便宜ヲ得タルヲ以テ寧口感謝ス

更ニ督促シ来リタルニ付不取敢右ダケハ決定發表ノ事ニ取運ビ差支ナシト認メ往電第五〇七号ニ閔スル外交總長代理ノ回答確メ旁四月四日西田ヲシテ外交部ト公表日取打合サシメタル処往電第五〇七号ノ件ニ付施參事ハ早速外交總長代理ニ伝ヘタルニ歐洲開戦後ノ協定契約ニ閔シ謠言誤解アルヲ一掃センタメニ自主的ニ之レ等ノ協定契約公表方ヲ外交部ヨリ大總統ニ稟請ノ上其許可ヲ得テ公表方ヲ關係諸国ニ徳義上通告シタル次第ニ付ハス次第ナリトテ(施ハ日本ルコトハ外交部ノ無方針ヲ顧ハス)次第ナリトテ(施ハ日本側ノ要求ニ依リ歐戰開始前ノ分モ公表スルコト洩ルレバ又外間ニ種々ノ謠言ヲ伝フルノ原因タルヲ虞ルト云ヘリ)同意シ難キ旨話アリタル旨ヲ述べタリ依テ西田ヨリハ欧戦開始前後ヲ問ハズ公平一律ニ支那側ニテ公表スルコトハ却テ欧戦開始後ノミナラズ欧戦開戦前ニモ斯ノ如キ協定契約ノアリシコトヲ一般ニ周知セシメ謠言誤解ヲ一掃セシムル良策ニ非ズヤト述ベタル処施ハ更ニ外交總長代理ニモ傳フベキモ欧戦開始後ノ分ハ各國一律公平ニ公表スル次第ニ付モセラレザル様尽力願ヒタキ旨申出タル趣ナリ本件ハ尙尽

張セラレザル様尽力願ヒタキ旨申出タル趣ナリ本件ハ尙尽

力ヲ試ムベキモ不取敢

公表日取ノ件ハ別ニ電報ス

八七八 四月四日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

契約類公表ニ閔シ西田及外交部間打合ノ交付

日取報告ノ件

第五一大号 大至急 （四月五日接受）

往電第五一大号西田及外交部ト打合セタル交付日取左ノ通

リ（右ハ新聞社ニ交付スル日取ナリ）

四月七日 參戰借款契約一件並別約及声明書各一件（參戰

軍ノ経費予算額ハ支那側ニテハ公表セズト云ヘ

リ）

同月九日 濟順高徐及満蒙鐵道借款兩予備契約ニ閔スル交

換文六件及濟順高徐鐵道借款予備契約一件

同月拾日 滿蒙鐵道借款予備契約一件

同拾一日 日本ノ分無シ（英國無線電信借款契約公表ノ筈）

同拾二日 有線電信借款契約一件並附款承認書等六件

同拾三日 （日曜日公表無シ）

同拾四日 無線電信借款契約一件並附約一件（不明）三件

（見積書ハ大村中山ニ於テモ公表セザル方然ル
ベントノ意見ナルト支那側ニ於テモ公表ノ予定
表中ニ入レ居ラザル模様ニ付我方ヨリ態ト未ダ
見積書ノ添付サレアル事ヲ外交部へ注意シ居ラ
ズ尚確カメノ上可成見積書ハ公表セシメザル事
ニ致度）

同拾五日 吉黒林鉱借款契約一件並附款往復ニテ拾件承認
書一件声明書一件

其他興亜実業借款契約及交通銀行借款契約ハ他国契約ノ公

表如何ニ依リ定ムル事ニ留保シ軍器契約ノ件ハ後電ノ御電

訓ヲ俟ツ事ニ取計置キタル次第ニ付右御承知ヲ請フ

同拾五日 吉黒林鉱借款契約一件並附款往復ニテ拾件承認
書一件声明書一件

内田外務大臣ヨリ
書一件声明書一件

西田及外交部間打合ノ公表日取承認並公表ニ

内田外務大臣ヨリ
書一件声明書一件

八七九 四月六日 在中國小幡公使宛（電報）

西田及外交部間打合ノ公表日取承認並公表ニ

対スル責任問題ニ付指示ノ件

第四六九号 至急

貴電第五一大号ニ閔シ御來示ノ通ノ日取ニテ発表ノ件ニ異

存ナク當方ニ於テモ同様発表方取計フコトトスヘシ但無線

電信契約附属ノ見積書ハ公表セサル方好都合ナルニ付外交

部ノ意嚮御確メノ上更ニ電報アリタシ

次ニ契約公表ニ對スル責任問題ニ付テハ元來右契約ハ支那

政府ト日本資本家トノ間ニ締結セラレタルモノニシテ帝国

政府カ支那政府ノ協議ニ応シ公表ニ同意スルモ是レ單ニ政

府トシテノ見地ヨリ異議ナシトノ趣旨ニ止マリ資本家ヲ代

表シテ同意スルニハ非ズ素ヨリ本件公表ハ日本資本家ノ意

思ニ基クモノニ非ザルヲ以テ資本家ニ在リテハ之カ為万一

物質的損害ヲ受クルトキハ公表ヲ希望セル支那政府ニ於テ

責任ヲ執ルヘキコトト了解スルハ當然ナルベク從テ帝国政

府カ今回右責任所在問題ヲ指摘セルハ唯念ノ為自明ノ事理

ヲ述ベタルニ過ギズシテ何等特殊ノ条件又ハ要求ヲ提出ス

ルノ意ニ非ズ又右損害ト云フモ今日ニ於テ何等具体的問題

ノ生スヘキコトヲ予想スルモノニ非ザルノミナラズ帝国政

府ニ於テ妄リニ当事者ノ損害要求ヲ支持セムトスルカ如キ

底意ヲ有セザルハ勿論ニ付此ノ趣旨ハ篤ト説明シ置カレ度

シ

尚軍器契約ノ件ハ目下主務省ト協議中ニ付追テ電報スヘク

将又外國關係契約中「リー、ヒッギンソン」借款ハ公表セ

シムル様可然御申入相成度シ

一〇 欧洲戰争ノ際中國及各國間ニ締結ノ條約及契約類公表ノ件 八八〇

九六九

八八〇 四月八日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）

軍器契約ノ發表ニ閔シ泰平組合ハ反対ナルモ

日本政府ニ異存ナキ旨並右組合ニ對スル政府
ノ態度ニ付訓令ノ件

第四七七号

往電第四六九号末段軍器契約ノ件ニ閔シテハ帝国政府ノ関
スル限り之レカ發表ニハ何等異存ナシ尤モ泰平組合ハ商取
引關係上發表ニ同意セズ又政府ニ於テモ發表ニ同意方ヲ強
制スル訳ニモ行カザルニ付泰平組合トノ關係ハ当事者タル
支那政府ト泰平組合トノ直接交渉ニ委スルノ外ナキモ泰平
組合カ支那政府ニ對シ發表拒絶ヲ固執スル場合ニ帝国政府
ニ於テ泰平組合ノ主張ヲ直接又ハ間接共何等支持スルノ意
思ナキハ勿論ナルニ付其旨支那側ニ御申入相成度シ

註 右ト同趣旨ノ電報ハ四月九日在仏大使宛電報第一七九号ヲ
以テ發送セラレ且在歐米各大使ヘ転電セシメラレタリ又在
支那領事及香港ニモ本省ヨリ直接電報シ又ハ転電セシメラ

八八一 四月八日 内田外務大臣ヨリ
在仏國松井大使宛（電報）

日中間ニ締結ノ条約及契約類公表ニ関スル文

涉経過通報ノ件

第一七七号

三月上旬支那外交部員在支公使館船津書記官ニ対シ今回支那側ニ於テハ歐洲戦争開始以後支那ト各国間ニ締結セラレタル各種協約契約等全部ヲ發表スルコトトシタルニ付一応通報スル旨申越タルニ付船津ハ右ハ本国政府ノ訓令アル迄發表方ヲ見合サレタキ旨申入レ置キタル處更ニ支那側ヨリハ三月十四日ヨリ参戰借款ヲ初トシ毎日一件ソツ十二件ヲ公表シタキ旨申越タリ然ルニ右ニ対シテハ帝国政府ニ於テ関係各省及当事者等ト協議ノ必要上暫ク其發表見合セ方ヲ重ネテ申入レタルニ其後支那側ヨリハ至急公表シテ世間ノ誤解ヲ解キタキ旨ヲ督促シ來リタルニ付帝国政府ニ於テハ不取敢第二次善後借款前貸契約三件及之力借換契約二件タケノ發表方ニ同意ヲ与ヘ右ハ三月二十日ヨリ二十七日ノ間にニ於テ公表セラレタリ爾來當方ニ於テハ各関係方面ト協議ヲ遂ケ歐洲戦争開始ノ前後ヲ問ハス支那政府ト各国トノ間

ニ至レリ仍テ帝国政府ニ於テハ本件ニ対スル同意遷延ノ為徒ラニ誤解ヲ招クハ却テ不得策ナリト思考シ遂ニ大体支那側ノ希望ヲ容レテ開戦後ノモノノミノ發表方ニ同意ヲ与ヘ且責任問題ニ關シ小幡公使ヲシテ右契約ハ支那政府ト日本資本家トノ間ニ締結セラレタルモノニシテ帝国カ公表ニ同意セルハ單ニ政府トシテノ見地ヨリ異議ナシトノ趣旨ニ止マリ資本家ヲ代表シテ同意スルニハ非ズ素ヨリ本件公表ハ日本資本家ノ意思ニ基クモノニ非ザルヲ以テ資本家ニ在リテ之カ為万一千物質的損害ヲ受クルトキハ公表ヲ希望セル支那政府ニ於テ責任ヲ執ルヘキコトト了解スルハ当然ナルヘク從テ帝国政府カ今回右責任所在問題ヲ指摘セルハ唯念ノ為自明ノ事理ヲ述ベタルニ過ギズシテ何等特殊ノ条件又ハ要求ヲ提出スルノ意ニ非ズ又右損害ト云フモ今日ニ於テ何等具体的問題ノ生スヘキコトヲ予想スルモノニ非ザルノミ

ナラズ帝国政府ニ於テ妄リニ当事者ノ損害要求ヲ支持セムトスルカ如キ底意ヲ有セザルハ勿論ナル旨ヲ説明セシメタリ爰ニ於テ遂ニ支那側ニテハ四月七日ヨリ参戰借款山東満蒙鉄道予備契約同上ニ関スル三種ノ交換公文有線電信借款契約無線電信契約吉林黒竜江両省森林並金鉱借款契約等、

二締結セラレタル条約協約契約等ニシテ從来公表セラレザリシモノヲ公平ニ一律公表スルコトトスルニ於テハ日本關係ノ分モ同時ニ公表スルコトニ異存ナク只公表ノ結果万一日本側契約当事者ノ有スル権利ニ支障ヲ生スルカ如キコトアル場合ニハ支那政府ニ於テ責任ヲ負フコトヲ期待スル旨ヲ回答シタル處支那側ニテハ今回ノ公表ハ開戦後ノ諸協定ニ対スル臆測誤解ヲ一掃セシカ為ニ各國ト締結シタルモノヲ一律公表方ヲ希望スル次第ナリトテ開戦前ノ分ノ公表スル次付支那政府ニテ責任ヲ負ヒ難シトナシ支那新聞ニ來リ且責任ノ件ニ關シテモ英米両国等ノ分ハ已ニ両国ニ於テ承諾シ何等斯ル申出ナク且日本政府ノ同意ヲ經テ公表スル次第ニ付支那政府ニテ責任ヲ負ヒ難シトナシ支那新聞ニハ日本公使ヨリ申出ノ結果公表延期ナルヘキ旨ヲ報シ又路透通信ノ如キハ早クモ是裏ニ巴リニ於ケル秘密文書公表ノ場合ト同様小幡公使ヨリ支那政府ニ圧迫ヲ加フルカ為ナリトナシ或ハ今トナリテハ契約中実行ニ堪ヘザルモノアルカ為公表ノ責任ヲ支那ニ帰シ之カ廃棄ノ口実トナサントスルノ魂胆ナルヘシ等虚構ノ説ヲ樹テ中傷セントスルモノアル

（以上各契約類ハ印刷ニ附シタルニ付郵送スヘシ）ヲ一日一件宛引続キ發表スルコトトナリ當方ニ於テモ新聞通信社等ニ示スコトシタリ此外支那側ヨリハ兵器供給契約興亞公司借款契約及交通銀行借款契約等ノ發表ヲモ希望シ来リタレトモ未ダ決定ニ至ラズ尚今回發表ノ外国關係ノモノハ米国運河借款シームス・カレー鉄道契約マルコニー無線電信契約二件等ナリ右各大使ニ転電アリタシ

註 右ハ在支各領事及香港ニ転電セラレタシ

八八二 四月九日 在中國小幡公使（ヨリ）
内田外務大臣宛（電報）

契約公表ニ対スル責任問題ニ付西田ヲシテ外

文部ニ篤ト説明セシメタル旨報告ノ件

第五三三号

貴電第四六九号中段契約公表ニ対スル責任問題ニ關シテハ本使三月二十四日外交總長代理ニ會見ノ節略ボ御電訓ノ趣旨ト同様ノ説明ヲ与ヘ置キタルモ（往電第四六号参照）更ニ御電訓ノ次第アリタルニ付四月七日西田ヲシテ外交部ニ篤ト説明セシメタル處施參事ハ本件ニ就テハ既ニ小幡公

使ヨリ申出アリタル際外交總長代理ヨリ回答セシ如ク支那

政府ニ於テ責任ヲ負ヒ難ク又日本政府ガ本件ニ関シ何等特

殊ノ条件又ハ要求ヲ提出スルノ意ニ非ザル以上軽キ申出ノ

如ク領解スルモ公表ニ因リ今後日本資本家ガ万一物質上ノ

損害ヲ受ケタリトノ申出等實際問題ノ発生シタル場合ハ如

何スペキヤ現ニ英米各国等トノ契約モ當該國公使ニ通告シ

一律ニ公表セルニ右各国ヨリハ何等責任問題ヲ申出デズ仮

令其申出アリトスルモ勿論支那政府ニ於テハ承知スル限ニ

非ザルニ日本資本家側ノミニ対シ支那政府ニ於テ其責任ヲ

負フハ承諾シ難キ所ナリ将又外交部トシテモ本件説明ノ申

入ニ対シ不承認ノ旨ヲ回答シ置カザルニ於テハ本件申入ヲ

承認セル姿トナルノ虞アルニ付御説明ノ次ハ外交總長代

理ニ伝ヘ考慮ノ上回答可致モ何トカ責任云々ノ如キ問題ニ

触レザル事ヲ希望スル次第ナルガ日本側ニ於テモ考慮ヲ願

ヒタキ旨申述ベタル趣ナリ

八八三 四月十日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

契約公表ノ責任ニ關シ當方ヨリ説明シタルハ

中國側ノ回答ヲ期待シタルニハ非ザル旨指示

八八四 四月十一日

内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使(電報)

契約公表ハ予定通り行ハレタル旨回申ノ件

第五四一號(急)

貴電第四九六号後段ニ關シ七日、九日、十日何レモ往電第

五一六号予定ノ如キ公表ヲ了セリ十二日以後モ責任問題ニ

關係ナク引続キ公表ノ筈猶予定変更セザル限り發表ノ都度
別段一々電報セザルニ付右様御含ミアリタシ

八八五 四月十六日

在中國小幡公使
内田外務大臣宛

契約公表ノ責任問題ニ關シ報告ノ件

機密第一六一号

(四月二十一日接受)

大正八年四月十六日

在支那 特命全權公使 小幡 西吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

日支契約公表ノ結果我方ノ被ルコトアルヘキ損害ニ対スル
支那政府ノ責任問題ニ關スル件

本件ニ關シ往電第五三三号ノ通リ外交部ニ申入レタル我方
説明ハ單ニ申入レニ止メ素ヨリ何等回答ヲ求ムルカ如キ態
度ニ出テタル次第ニハ無之キモ支那側ニ於テハ其儘ニ放任
スルトキハ其責任ヲ負フコトヲ承認セルカ如キ姿トナルヲ
恐レタルモノト見エ四月十日施參事ヨリ西田通訳官ニ対シ

本件日本政府ノ説明ノ次第外交總長代理ニ伝ヘタル処同總
長代理ハ今回日本政府説明ノ趣旨ハ充分了解セルモ軍事協
定ノ如キ兩国政府間ニ於テ秘密ヲ厳守ストノ規定アルモノ

貴電第五三三号ニ關シ支那側ヨリハ責任問題ニ付更ニ回答

ヲナシ来ルカ如キ模様ナル處右ニ闕スル往電第四六九号ノ

趣旨ハ為念当然ノ事理ヲ述ヘタルニ過ギザルニ付何等回答

ヲ期待スル次第ニハ非ズ若シ支那政府ニ於テ我解釈ニ異議

アリトセバ双方ノ主張ハ他日具体的問題ノ發生スル迄互ニ

之ヲ留保スルコトトシ然ルヘシ兎ニ角當方ニ於テハ右打合

日取ニヨリ七日及九日ニハ夫々發表シタル處支那側ニテハ

責任問題ノ為未タ發表ヲ差扣ヘ居ル次第ナリヤ電報アリタ

シ尤當方ニテハ不取敢十日ノ分以後ハ發表方ヲ見合セ本電

ニ対スル貴官ノ回電ヲ俟テ更ニ引続キ發表スルコトトスヘ

シ為念申添フ

貴電第四九六号後段ニ關シ七日、九日、十日何レモ往電第

五一六号予定ノ如キ公表ヲ了セリ十二日以後モ責任問題ニ

越シ候ニ付當時西田通訳官ヨリハ興亞公司借款ノ附約ノ如

キハ明カニ双方秘密ヲ嚴守ストノ規定アル点ヲ指摘シ當方

説明ノ申入レハ本件ニ關スル支那側ノ回答ヲ期待スル意ニ

アラザルモ御申越ノ次第ハ免モ角本使迄伝フル旨回答シ置

キタル趣ニ有之候處其後貴電第四九六号御訓電ノ次第アリ

タルニ付四月十一日本使外交總長代理ニ會見ノ節本件ニ言

及シ過日本件説明ヲ申入タル趣旨ハ為念當然ノ事理ヲ述ヘ

タルニ不過ニ付何等回答ヲ期待スル次第ニハ其儘ニ放任

府ニ於テ我解釈ニ異議アリトセバ双方ノ主張ハ他日具体的

問題發生スル迄互ニ之ヲ留保スルコトシ可然シト申入レ

タル処同總長代理ハ歐洲戰爭終了ノ結果經濟界ノ動搖ニ基

一〇 欧洲戦争ノ際中国及各国間ニ締結ノ条約及契約類公表ノ件 八八六

九七四

キ物価ノ急激ナル騰貴又ハ暴落等ノ為メ当事者ニ於テ物質上ノ損害ヲ受クル影響ハアルヘキモ公表ニヨリ当事者ニ損害ヲ来スコトナカルヘシトノ事情等ヲ繰返シタルモ支那側主張ノ次第ハ隨時本国政府ニ報告シ置キタルニ付兔モ角本件ハ万一他日具体的問題ノ發生シタル場合ニ商議スルノ外無之カルヘキ旨ヲ申述ヘ置キ候ニ付右様御承知相成度此段報告申進候也

八八六 四月二十三日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

中国側発表ノ日中間ニ締結ノ条約及契約類目

録送付ノ件

附屬書 右条約及契約類目録

公第一五七号

大正八年四月二十三日

(四月二十八日接受)

在支那

特命全権公使 小幡 西吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

支那側発表日支間契約送付ノ件

三月十四日以来陸續發表セラレタル歐戰以後日支間契約書

類別紙切抜一括送付供査閱候此種各契約ハ所謂「密約」ナル名称ノ下ニ久シク世上多大ノ疑惑ヲ惹キ幾多非難攻撃ノトナリ世人ノ視聽ヲ聳動シタルニ不拘其一旦外交部乃至其筋ノ手ヲ経テ發表セラルヘキ北京多クノ新聞ハ或ハ全然之ヲ掲載セザルモアリ又或ハ其一半ヲ掲載シテ中止シタルモアリ兎ニ角此種契約ニ就イテハ「密約」ノ二字ヲ以テ喧嘩々シタルニ不拘其内容ニ就イテ何等非難指摘批評ヲ加ヘタルモノナキハ寧ロ天下ノ奇跡ニ有之幾多ノ迂余曲折ヲ經テ發表セラレタル此種契約類ガ是迄「密約」ナル名称ノ下ニ有ラユル猜疑嫉視ヲ蒙リタルコトモ却ツテ意外ノ現象ニ有之候

右報告申進候也

(附屬書)

添付新聞切抜目録

一、日支共同防敵協定(漢英各通)

一、第二次善後借款前貸日幣壹千万円契約(漢英各通)

一、同上第二回前貸日幣壹千万円契約(漢英各通)

一、同上第三回前貸日幣壹千万円契約(漢英各通)

一、支那大蔵省証券借換契約(漢英各通)

五七号ヲ以テ報告致置候処當時發表セラレタル支那ト日本以外ノ外國間ニ締結セラレタル契約文別記目録ノ通り及御送付候間御查閱相成度此段申進候也

(附屬書)

添附新聞切抜目録

一、米支運河借款(漢英各通)

一、裕中公司一千五百哩鐵道契約(同上)

一、馬可尼無線電話借款契約(同上)

一、馬可尼無線電報公司借款契約(漢英各通)

送付ノ件

附屬書 右契約目録

公第一五九号

(四月二十八日接受)

大正八年四月二十三日

在支那

特命全権公使 小幡 西吉(印)

外務大臣子爵 内田康哉殿

支那側発表外國關係契約類送付ノ件

本件日支間ノ契約書類新聞切抜一括四月二十三日附公第一

一〇 欧洲戦争ノ際中国及各国間ニ締結ノ条約及契約類公表ノ件 八八七

九七五